

こんな時代だからこそ、目指せ！ ICTプロフェッショナル

新宿情報ビジネス専門学校の昼1・2部開講制

本校の目標テーマである「マルチメディアの進展に応じて、目指せ ICTプロフェッショナル」を実践するため、夏休みを8月の1ヶ月に限定して年間授業日数を増やすことで、半日学び半日働ける昼1・2部開講制を運用。「学・働・遊・合」を本校の教育コンセプトとして、4月入学と10月入学のセメスター学修システムを推進しています。

昼1部は日本人学生主体に午前中は必修講座を年間840時間、午後は専攻別の選択講座（週2日、14時40分に終了）を年間160時間履修で合計1,000単位時間の年間授業時数を確保。IT、情報処理、CG・Webデザインなどの適職志向のカリキュラム編成で、午後の専攻に係るアルバイトは選択講座「職場実習」として一定の条件で単位認定。経済的・職業的自立を目指す希望者には、学費減免制度と「午前には学び午後から働ける産学連携デュアルシステム」を整備。

また、大学3・4年次生などが午前中は本校で国家資格に挑戦したりキャリアデザイン講座などを受講、午後からは大学のゼミや専攻講座を受講するWスクールで Employability（雇用され得る能力）を高めて確実な就職を目指す大学生が増えつつあります。

2016年度卒業の就職希望者の就職決定率は100%です。

昼2部は留学生主体にビジネス実務、Webサイト制作、IT実習、情報処理、Java実習、キャリアデザイン、就職支援、日本語読解と論作文などの目的別・習熟度別授業で卒業後の就職や大学編入・大学院進学を目指す履修制度です。午後の時間帯が必修講座で16時20分に終了。午前は専攻別の選択講座を週2日履修。年間授業時数は1,000単位時間の半日学び半日働けるデュアルシステムです。

留学生の過去24年間における就労ビザ取得者は291名、大学・大学院への進学者は174名となっています。最近の傾向は、卒業留学生のうち、就職希望者の約90%が日本で就職するなど、技術または人文国際業務（平成27年4月1日からは「技術・人文知識・国際業務」へ一本化）の就労ビザ取得者が増えつつあります。

なお、2016年度の昼1・2部全体の就職決定率は89.1%です。

毎年11月23日の学園祭は、日本人学生と留学生交流の場とし校内スピーチコンテストをメインイベントにCG・Web制作展やビンゴ・伝言ゲーム・カラオケ大会と模擬店などで国際交流を楽しんでいます。真に本校の教育理念を実践する国際感覚養成の場となっています。